

Overview: アウトライン I は預言についての定義を提供しています。II は主を愛する預言の生活、III は祈研暗語によってキリストの豊富で養われること、IV は召会の集会における開始の鳥瞰的な交わりと結びの交わりの重要性について語っています。V は預言を構成する 3 つの要素、VI は預言を 3 つの構成要素をもって準備する時に留意しなければならない重要な点、VII は預言を実際に行う時に注意しなければならないことについてです。預言することは、神のエコノミーの目標であるキリストのからだ、極めて大きな軍隊としての召会を建造することができるので、預言する人を卓越させます。

I. 召会の集会の中で預言すること(主のために語り、主を語り出し、互いの中へと主を語り込むこと)は、聖書の中の最大の予言を成就します。すなわち、(一の中で、極めて大きな軍隊として)召会を建造することを成就します。

II. 私たちは、主を極みに至るまで愛することによって、預言の生活をする必要があります:

- A. 私たちは主を愛すれば愛するほど、ますます資格づけられ、成就され、装備されて、主のために語ります。
- B. 主に対する私たちの愛は、私たちが主のために語る時に権威と衝撃力と力強さを持つことの要因、要素、基本的な本質です。
- C. もし私たちが主を愛するなら、私たちは主で満たされます。何であれ内側で私たちが満たすものは、私たちから出て来ます。あふれ流れ、内側の満たしからやって来ます。
- D. 私たちは主を極みに至るまで愛するとき、語らなければなりません。私たちは、内側で私たちが満たした方を解き放たなければなりません。

III. 私たちは、祈研暗語(祈り読み、研究し、暗唱し、語ること)の道を取ることで、キリストの計り知れない豊富をもって人々を養うことができますようになります:

- A. 祈り読みは、祈研暗語のとても重要な部分です。私たちは、聖書を祈り読みすることによって聖書を研究します。
- B. 預言することは、多くの祈りを必要とします: 1. 祈ることは、主の行動のために主に事を行なっていただくよう懇願することだけではなく、私たちの霊を活用し、強めることでもあります。2. このゆえに、使徒たちが実行したように、言葉の務めの前にまず祈りが来るべきです。そのような祈りがなければ、言葉の務めは活気づけられることも、力づけられることもありません。3. 「何事でも、私たちが彼のみこころにしたがって求めるなら、彼は聞いてくださいます。これこそ、私たちが彼に対して持っている大胆さです。私たちの求めるものは何でも、彼が聞いてくださることを知っているなら、私たちが彼に求めた願いは、かなえられていることを知るのでです。これらの節は、私たちが励まして、聖書(主の遺言、主の契約)の中にある主のみこころにしたがっている事柄を主に祈り返すようにさせます。

IV. 預言の集会の開始と結びの言葉は、とても重要です:

- A. 開始と結びの言葉は、いずれもおおよそ五分から八分の長さであるべきです。
- B. 開始の言葉は、集会が主からの明確な方向性と負担をもって力強い開始を持つことを確かなものとします。
- C. 結びの言葉は、集会がむなしく終わらないことと、集会が実際の供給に満ちて終わることとを確かなものとします。それによって、聖徒たちは主の臨在の喜びで満たされ、また霊であり命である主の言葉による満足で満たされるようになります。決して集会をむなしく終わらせたり、実際の供給なしに終わらせたりしてはいけません。
- D. 私たちは、重要な点と付属的な点をもって私たちの預言の原稿を書かなければなりません。
- E. 預言の集会において主がおもに関心を持つのは、分け与えをする聖徒たちの人数ではなく、彼らが分け与える内容の質です。
- F. 預言の集会の日に、私たちは集会のために自分を準備すべきであり(私たちが預言する内容に焦点を合わせる)、他の事柄、霊的な事柄によってさえそらされるべきではありません。

V. 私たちは、預言を構成する三つの要素を見なければなりません:

- A. 私たちは、神の言に対する認識を持たなければなりません—人に属する学びの要素。
- B. 私たちは、聖霊の即時的な感動を持たなければなりません—神聖な感動の要素。
- C. 私たちは、神の権益とエコノミーに関して、キリストのからだとしての召会に関して、地方召会に関して、この世に関して、個別の聖徒たちに関して、さらには自分自身に関して、ビジョンを持たなければなりません。すなわち、神聖な光の照らしを通しての展望を持たなければなりません: 1. パウロが聖徒たちに、神の召しにふさわしく歩こうと懇願したとき、彼はキリスト・イエスの囚人と主の中の囚人という身分から語りました。2. 神のあらゆる執事、神の豊富を供給するあらゆる奉仕者、キリストを忠信に愛するあらゆる人は、遅かれ早かれキリストによって監禁されるだけでなく、またキリストの中で監禁されます。私たちが主を愛すれば愛するほど、ますます私たちは彼の中にいるようになり、ついには彼が私たちの獄となります。それは、私たちが彼を極みに至るまで享受するためであり、それによって私たちは、神の召しにふさわしい歩みを持つようになります。3. 私たちは自由にならばなるほど、ますます盲目になります。しかし、もしキリストが私たちの獄であるなら、私たちの目は開かれて天的なビジョンを見ます。そして、私たちは神のエコノミーの最高の啓示を受け取ります。

VI. キリストのからだとしての召会を建造するために、私たちは学び、成就されて、預言を構成する要素をもって有機的に預言(主を人の中へと語り込むこと)しなければなりません:

- A. 私たちは時間を贖い、労力を費やして、聖なる言をもって浸透され浸し込まれ、装備されて預言する必要があります: 1. 私たちは、数節の御言において主を享受することによって、毎朝、主によって復興される必要があります: a) 主の慈愛とあわれみは、朝ごとに新しいです。b) 義人の路は、昇る太陽のようです。c) 私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。d) 私たちは、夜明けを待ち望んで神の言を仰ぎ望み、神の言を思い巡らすべきです。すなわち、彼の言葉を受け入れて、何度も再考しなくてはなりません。e) 私たちは、神の言葉を思い出し、それを食べ、それを私たちの心の楽しみ、また喜びとすべきです。2. 神の言を開き、解釈し、その計り知れない豊富を解き放つ最上の助け、すなわち、ライフスタディのメッセージ、務めの書物、回復訳のフットノートを用いることによって、私たちは御言を学ばなければなりません。3. 私たちは、創世記第 1 章 1 節から啓示録第 22 章 21 節まで、定期的に聖書を読まなければなりません(「聖書はすべて、…益があり」、または「神の口から出るすべての言葉によって生きる」)のです。4. 私たちは毎日、主の言葉の中で主から受けた霊的な照らし、霊の感覚、享受を書き留め、週の最後に、これらの点を一緒にして、三分間を超えない預言の原稿を書いて、召会の集会で語らなければなりません。5. 御言に対する認識は、私たちが預言するための恒常的な要素となります。
- B. 私たちは、霊の中で準備して、その霊の即時的な感動を受けなければなりません: 1. 預言者の霊は、彼らの存在の最も重要な部分です。2. 私たちは主のために語るときはいつも、私たちの霊を活用して、その霊をもって、また知恵と知識のすべての宝の蔵であるキリストをもって、語らなければなりません。3. 私たちは、自分自身を神の中へと祈り込んで、聖霊の計り知れない豊富を受け入れ、自分自身が養われるようにしなければなりません。それによって私たちは、私たちの顧みの下にある人々を養うことができます。4. 私たちは、主との交わりの中に住んで、私たちの霊にしたがって歩き、私たちの霊の中で仕え、その霊を供給し、神の霊によって仕えなければなりません。5. 主イエスは、今日のモーセとエリヤとして、私たちの霊の中にいる真の預言者であって、信者たちの中で神のために語り、神を語り出しています。6. 聖霊の感動は、私たちが預言するための即時的な要素です。
- C. 私たちは、神聖な光の照らしを通して、明確な展望と洞察力を持って、すべての状況の中でのすべての事を見通さなければなりません: 1. 私たちは、私たちの霊の中でのみ啓示を受けることができます。2. 私たちは、はとの目を持たなければならぬだけでなく、それ以上に、池のような目をもたなければなりません: a) はとの目が表徴するのは、その霊の洞察力と認識です。b) 池のような目が表徴するのは、拡大され広げられ、光に満ちており、宇宙全体を包括する視野です。3. 私たちは宇宙全体に対する明確な展望を持ち、この世、諸召会、私たちの信者仲間たち、自分自身についての真の状況を見なければなりません。4. 私たちは、天が私たちに開かれて、神のビジョンを見なければなりません。それは、主の明確な言葉(神聖な啓示を伝達する特別で、新鮮な、生き生きとした言葉)を受け入れることと、主の御手が私たちの上に臨むことによってです: a) 主の御手が、主の言葉に続きます。もし人の供給するものが真に神の言葉であるなら、神の大能の御手が続いて、神の語る事を完成します。b) 神の御手が人の上に臨むことはまた、人を導くためであり、人に行動を取らせるためです。主の御手がエゼキエルの上に臨んだ後、彼は自分自身の選択にしたがって行動したのではなく、主の御手の導きと指示にしたがって行動しました。

VII. 私たちは、預言を構成する要素をもって語らなければなりません。すなわち、聖霊の感動の下で、彼の照らしをもって、この命の生きた言葉を用いて、私たちが見たもの、聞いたものを語らなければなりません:

- A. 預言することは、奇跡的で平常の事です: 1. 預言することは平常の事です。なぜなら、それは私たちに御言を学ぶことと、語るために訓練されることを要求するからです。2. 預言することは奇跡的な事です。なぜなら、それは神聖な要素、神聖な光、聖霊の感動をもって語ることであるからです。
- B. 預言することは、神の言(神聖な啓示を伝達する神の語りかけ、神の発言)を持つことです。
- C. 私たちが、御言に対する人に属する学び、その霊の神聖な感動、明確な展望を持つとき、私たちは預言することができるようになります。
- D. 預言することは、この命の生ける言葉、聖霊の感動、神聖な光の照らしを通して得られる明確な展望から、いつも構成されています。
- E. 「預言する者は召会を建造します」とは、何と偉大なことでしょう!



## 経験①: からだを建造するために、預言して一肢体の機能を果たす

Iコリント 14:4 …預言する者は召会を建造します。

31 なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。

39 ですから、私の兄弟たちよ、預言することを熱心に求めなさい…

40 しかし、すべての事は適切に、秩序正しく行なわれなければなりません。

エペソ 4:11 そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。12 それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、

16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

私たちは一人だけが語るのではなく多くの人が語る召会の集会を持つように努めなければなりません。しかしながら、私たちの一部は集会において傍観者になることを依然として好みます。私たちはみな、自分が参加するどの集会においても語ることを準備すべきです。…キリスト教の実行は、キリストのからだの肢体の機能を無効にして、彼らを窒息させてしまいました。この実行は主の再来を遅らせてきました。…しかし、私たちは真理が勝利することを認識しなければなりません。この宇宙において真理に敵対することができるものは何もありません。私たちは、忍耐をもって聖書的な方法で労苦する必要があります。…最終的に、私たちがキリストのからだの建造のために集会し仕える聖書的な道に関して語ってきたことは、この地上で非常に優勢になるでしょう。主はご自身の言葉を成就しなければなりません。主はこの地上で何かを行なってある種の「教会」、組織としてのキリスト教を建て上げるのではなく、有機体としての彼のからだを建造しなければなりません。

### 在職青年編

あなたはキリストのからだの一肢体です。からだを建造するために、一肢体の機能を果たす必要があります。からだの中でからだの建造のために機能する時、自分のポジショニングを理解する必要があります。同様に、会社においても、自分の立ち位置、ポジショニングを理解して、自分の分を果たすべきです。

消極的な社員は、積極的に機能しようとせず、指示されたことだけを行います。このような人は、優秀な社員になることができません。また、ある人は、積極的なのですが、自分の立ち位置、ポジショニングを理解せずに、自分で決定できないことを決定したり、自分の分を超えて周りの人に指示したりします。これらの人は、正しく機能することを学ぶ必要があります。

キリストのからだには、かしら、節々、全ての肢体があります。すべての兄弟姉妹はかしら、キリストをしっかり保持する必要があります。また、全ての兄弟姉妹は、賜物のある肢体によって成就される必要があります。したがって、あなたはかしらにつながり、賜物のある肢体に助けをもらう必要があります。同様に、会社においては、あなたは会社の方針を理解し、上司の指示の下で積極的に仕事に取り組んでください。

ここで重要なことは2つあります。1つは、積極的に機能して学ぶことです。もう1つは、機能するとき自分のポジショニング、立ち位置の中で、自分が持っている権限や裁量を理解することです。そうでないと、あなたが機能すればするほど、混乱をもたらしてしまいます。召会においては、建造のために機能しています。会社においては、プロジェクトを前向きに推進させ、会社が利益を得るために自分の役割を果たします。ですから、正しい召会生活は、あなたを助けて、正しいビジネス・ライフを送らせることができます。アーメン。

## 経験②: 預言の構成-真理の学び、命の成長、その霊の即時的な語りかけ

Iコリント 14:24 ところが、全員が預言している所へ、未信者や異言の通じない人が入ってくると、彼はすべての者によって良心が責められ、すべての者によって調べられ、  
25 その心の秘密があらわになり、こうして彼はひれ伏して、神を礼拝し、まことに神はあなたがたの間におられる、と言い表すでしょう。26 それでは兄弟たちよ、どうなのですか？あなたがたがいつも集まるときには、それぞれの人に詩歌があり、教えがあり、啓示があり、異言があり、解釈があります。すべての事を、建造のために行ないなさい。

私たちは預言することを願うなら、聖書の聖なる御言を学ばなければなりません。…私たちは聖なる御言の中に浸し込まれる必要があります。それによって私たちは聖なる御言を熟知することができます。ルカによる福音書第1章には、主の母、マリアがエリサベツを訪問した記録があります。彼女たちは両方とも互いに預言しました。マリアの預言のほとんどあらゆる節、あらゆる語句は旧約からの引用でした。これは若い女性としてのマリアが神の御言を熟知していたことを証明します。…もし私たちが聖なる御言を持っていないなら、私たちはそれをもって語る表現を持たないでしょう。私たちは内側に感覚と感動を持つかもしれませんが、発言と言葉を持たないでしょう。

私たちはまた命の成長の中で預言することを学びます。救われてわずか二か月の人は、自分がそれほど多く語ることができると期待すべきではありません。私たちの人の生活においてさえ物事を正しく行なうために、私たちは成長しなければなりません。霊的生活においても同じです。…どれほど私たちが預言することができるかは、命における私たちの成長の程度にかかっています。

私たちはまた神との接触の中で預言することを学びます。私たちは神と接触し、神と交わらなければなりません。私たちは主の御言の中へと入り、命における成長を追い求め、自分自身を神との接触の中に保つなら、預言することを学ぶでしょう。

### 中高生編

あなたは、中高生の時から、預言することを訓練してください。預言するために、まず神の言葉を学ぶ必要があります。毎週の「朝ごとの食物」のアウトライン、み言葉、メッセージの抜粋を毎日エンジョイし、3分間のショート・メッセージにまとめてください。ショート・メッセージを構成する時、メッセージ全体の鳥瞰図と鳥瞰図からくる重点をとらえるように訓練する必要があります。

また、学んだ真理を実生活に適用し、キリストを命として実際に経験する必要があります。真理は教理ではなく、実際です。真理はあなたの実際の生活に良い影響を与え、あなたに命としてのキリストを供給することができます。言い換えると、召会生活で学んだ真理は、あなたの学校生活での勉強や人間関係に役立てることができます。このようにして、あなたは日常生活で命の成長を経験してください。真理の重点の実生活への適用についても、ショート・メッセージの中に入れるべきです。

さらに、預言するときに、集会の中の霊の流れから来る即時的な感動や、主との個人的な交わりにおける即時的な感動を、準備したショート・メッセージと混ぜ合わせるべきです。もしこの命を与える霊の新鮮な、即時的な語りかけが無ければ、あなたの預言は生き生きとしたものでなくなるので、聞く人に知識を与えることができても、霊と命を与えることはできません。真理の学び、真理の実生活への適用による命の成長、預言する時のその霊の即時的な語りかけをもって預言を構成してください。預言することは、勝利者の機能であり、預言の訓練は、あなたを卓越した学生にすることができます。IIコリント 3:6 神はまた私たちが新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。

## 引用聖句

I. 召会の集会の中で預言すること(主のために語り、主を語り出し、互いの中へと主を語り込むこと)は、聖書の中の最大の予言を成就します。すなわち、(一の中で、極めて大きな軍隊として)召会を建造することを成就します。

マタイ 16:18 そこで私もあなたに言う。あなたはペテロである。私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。

Iコリント 14:4 異言で語る者は自分自身を建造しますが、預言する者は召会を建造します。

エゼキエル 37:4 彼は私に言われた、「これらの骨に預言して言いなさい。枯れた骨よ、エホバの言葉を聞け。5 主エホバはこれらの骨にこう言われる、見よ、私はあなたがたの中に息を入れ、あなたがたは生きる。6 私はあなたがたの上に筋を与え、あなたがたの上に肉を戻らせ、あなたがたの上に皮膚をもって覆い、あなたがたの中に息を入れる。こうしてあなたがたは生きる。そしてあなたがたは、私がエホバであることを知る。」

7 私は命じられたように預言した。私が預言していると、ざわめきがあり、そして見よ、震動があって、骨と骨とが共に集まって来た。8 私が見ていると、見よ、その上に筋があり、肉が戻って来て、皮膚がその上を覆ったが、息はその中になかった。

9 その時、彼は私に言われた、「風に預言せよ。人の子よ、預言して、その風に言いなさい。主エホバはこう言われる、息よ、四方から来て、この殺された者たちの上に息吹き、彼らが生きるようにせよ。10 そこで、彼が私に命じられたように預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き、自分の足で立ち上がって、極めて大きな軍隊となった。

II. 私たちは、主を極みに至るまで愛することによって、預言の生活をする必要があります:

Iコリント 2:9 このように書かれているとおりに、目が見たこともなく、耳が聞いたこともなく、人の心に思い浮かんだことのないものを、神はご自身を愛する者たちのために備えてくださった」。

10 しかし、神は私たちに、その霊を通してそれらを啓示されました。その霊はすべての事柄、神の深みさえも探られるからです。

III. 私たちは、祈研暗語(祈り読みし、研究し、暗唱し、語ること)の道を取ることによって、キリストの計り知れない豊富をもって人々を養うことができるようになります:

使徒 6:4 ただし私たちは、祈りと言の務めを堅く持続けることにしましょう」。

Iヨハネ 5:14 何事でも、私たちが彼のみこころにしたがって求めるなら、彼は聞いてくださいます。これこそ、私たちが彼に対して持っている大胆さです。

15 私たちの求めるものは何でも、彼が聞いてくださることを知っているなら、私たちが彼に求めた願いは、かなえられていることを知るのです。

IV. 預言の集会の開始と結びの言葉は、とても重要です:

ヨハネ 6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があるあなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

申命記 17:18 彼はその王国の王座に着くとき、レビ人の祭司たちの前にある書から、自分のために、この律法を書き写さなければならない。19 それを彼のもとに置いて、彼は一生の間それを日ごとに読まなければならない。それはエホバ・彼の神を畏れることを学び、この律法のすべての言葉とこれらのおきてを守り行なうためであり、20 彼の心が自分の兄弟たちに対して高ぶることがなく、戒めから右にも左にもそれることがないためである。そうすれば、彼とその子たちはイスラエルの中で王国の日を長くすることができる。

V. 私たちは、預言を構成する三つの要素を見なければなりません:

使徒 5:20 「行って宮の中に立ち、民衆にこの命の言葉をすべて語りなさい」。

Iテモテ 4:6 これらの事を兄弟たちの前に提示するなら、あなたはその信仰の言と、あなたが緊密に従ってきた良い教えの言に養われて、キリスト・イエスの良い奉仕者となります。

Iペテロ 4:11 だれかが語るなら、神の言として語りなさい。だれかが奉仕するなら、神が供給される力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それはすべての事において、イエス・キリストを通して神の栄光が現されるためです。その方に栄光と大能が、永遠にわたってありますように。アーメン。

Iテモテ 4:7 しかし、俗悪で、老婆じみた作り話を拒絶し、自分自身を訓練して、敬虔へと至りなさい。

エペソ 3:1 こういうわけで、私パウロは、あなたがた異邦人のために、キリスト・イエスの囚人となっています。

VI. キリストのからだとしての召会を建造するために、私たちは学び、成就されて、預言を構成する要素をもって有機的に預言(主を人の中へと語り込むこと)しなければなりません:

箴言 4:18 しかし、義人の路は夜明けの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。

IIテモテ 3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。

哀歌 3:22 私たちが滅ぼされないのは、エホバの慈愛である。まことに、彼のあわれみは尽きることがないからだ。23 それらは朝ごとに新しい。「あなたの信実は大偉です。

IIコリント 4:16 こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。

ルカ 24:27 そして、モーセとすべての預言者たちから始めて、聖書全体にわたり、ご自身についての事柄を説き明かされた。

使徒 8:35 そこで、ピリポは口を開き、この聖書の箇所から始めて、彼にイエスを福音として宣べ伝えた。

雅歌 1:15 「見よ、わが愛する者よ、あなたは美しい! 見よ、あなたは美しい! あなたの目ははとのようだ」。

7:4 あなたの首は、象牙の塔のようだ。あなたの目は、バテラビムの城門のほとリ、ヘシポンの池のようだ。あなたの鼻は、……レバノンの塔のようだ。

VII. 私たちは、預言を構成する要素をもって語らなければなりません。すなわち、聖霊の感動の下で、彼の照らしをもって、この命の生きた言葉を用いて、私たちが見たもの、聞いたものを語らなければなりません:

Iヨハネ 1:3 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。

Iコリント 14:24 ところが、全員が預言している所へ、未信者や異言の通じない人が入ってくると、彼はすべての者によって良心が責められ、すべての者によって調べられ、

25 その心の秘密があらわになり、こうして彼はひれ伏して、神を礼拝し、まことに神はあなたがたの間におられる、と言い表すでしょう。

624 集会 — キリストを展覧する

- 1 すべてのしゅうかい、主と主のゆたかを、  
みかみの一かてとし、展覧しよう、主を。  
(復)  
展覧しよう、主を、展覧しよう、主を、  
主のとみを持ち来て、展覧しよう、主を。
- 2 主により生き、また 主によりたたかわん；  
主により一むすばれ、展覧しよう、主を。
- 3 わがあゆみすべて、主を實際となして、  
しゅうかい一たびごと、展覧しよう、主を。
- 4 かみのためつどい、手に主、持ち寄らば、  
かみと主一たのしまん、展覧しよう、主を。
- 5 復かつ、しょう天の主、薫香としささげる；  
みかみ満一ぞくする、展覧しよう、主を。
- 6 しゅうかいのちゅう心、ほう仕、ふん困気も、  
主を展覧一するため、展覧しよう、主を。
- 7 あかしもいのりも、おしえ、まじわりも、  
たまもの一すべてで、展覧しよう、主を。
- 8 ちちにえい光帰し、御子をたかく上げ、  
ひつ要満一たすため、展覧しよう、主を。

624 聚会—展览基督

1. 每逢聚集带来基督，将祂所赐有余丰富，  
同来献上作神食物，如此展览基督。  
(副) 前来展览基督，前来展览基督；  
共同带来祂的丰富，前来展览基督。
2. 凭祂生活，靠祂争战，在祂身上经营无间；  
藉祂丰富彼此结联，为要展览基督。
3. 凡我所是、所行、所历，都是基督作我实际，  
好使我们每逢聚集，都能展览基督。
4. 聚会为神带来基督，彼此享受祂的丰富，  
且得与神同享基督，如此展览基督。
5. 复活基督作神馨香，升天基督向神举上，  
使神满足供神欣赏，如此展览基督。
6. 聚会中心、聚会实际、所有服事、所有空气，  
除此之外别无目的，全为展览基督。
7. 所有见证、所有祷告、所有灵中彼此相交、  
恩赐运用、一切教导，都为展览基督。
8. 为使父神得荣称许，为使基督得到高举，  
并使聚会应付所需，必须展览基督。

864. Meetings - Exhibiting Christ

- 1 Whene'er we meet with Christ endued,  
The surplus of His plenitude  
We offer unto God as food,  
And thus exhibit Christ.  
(Chorus)  
Let us exhibit Christ,  
Let us exhibit Christ;  
We'll bring His surplus to the church  
And thus exhibit Christ.
- 2 In Christ we live, by Christ we fight,  
On Christ we labor day and night,  
And with His surplus we unite  
To thus exhibit Christ.
- 3 Our life and all we are and do  
Is Christ Himself, the substance true,  
That every time we meet anew  
We may exhibit Christ.
- 4 In meetings Christ to God we bear  
And Christ with one another share,  
And Christ with God enjoying there,  
We thus exhibit Christ.
- 5 The risen Christ to God we bring,  
And Christ ascended offering,  
God's satisfaction answering,  
We thus exhibit Christ.
- 6 The center and reality,  
The atmosphere and ministry,  
Of all our meetings is that we  
May thus exhibit Christ.
- 7 The testimony and the prayer,  
And all the fellowship we share,  
The exercise of gifts, whate'er,  
Should just exhibit Christ.
- 8 The Father we would glorify,  
Exalting Christ the Son, thereby  
The meeting's purpose satisfy  
That we exhibit Christ.